

2-25-1 慈恩寺（郡上郡八幡町島谷）

当寺は、八幡城主遠藤慶隆が開基で、大本山妙心寺から半山禪師を迎えた。境内には遠藤慶勝らの霊廟や、金森左京（可英・第4代）の墓、金森頼錦（台近）の碑（墓は、宝暦騒動後改易断絶、御預け先の盛岡にある）がある。奥庭の莖草園は創建半山禪師の作庭で、池泉廻遊式かつ座観式の室町様式を持つ庭園である。明治26年（1893）、水害で埋没、3年後に復興。園内には、宗和形灯籠と、高山→上山→郡上へと金森氏と共に運ばれた春日灯籠がある。八幡城主頼錦は、深くこの庭を愛し、詩集「鍾山十境記」をまとめている。

リーフレットより